

【学校だより6月号の巻頭言より】

ミニコラム ～ど根性ひまわりの種～



学校運営協議会委員であり、地域の民生委員協議会の会長でもいらっしゃる小嶋 優様より「ど根性ひまわりの種」をいただきました。この種は、同じく民生委員でいらっしゃる吉村なお子様から受け継がれたものだそうです。

吉村様のお便りには、東日本大震災後の石巻の様子が綴られていました。「震災から約二週間後、がれきの中に「がんばろう!石巻」という看板が立てられました。流れ着いた木材で作られたその看板は、人々を励まし、やがて復興の象徴となりました。その夏、看板の周りにひまわりが芽を出し、花を咲かせました。津波や塩害にも負けずに咲くそのたくましい姿は、人々に大きな勇気を与え、「ど根性ひまわり」と呼ばれるようになりました。最初に採れた約150個の種は、命をつなぎ、今では15代目へと受け継がれています。(一部抜粋)」

今回いただいた種も、その大切な命のバトンの一つです。職員や子どもたちにこのお話を伝えました。子どもたちの手で育てられた16代目のひまわりが、学校のあちこちで力強く咲き、思いを未来へとつないでくれることを願っています。

取り組みの様子などは、学校のホームページなどでもご紹介していきたいと思えます。